データ項目ID		データ項目	グループ			データ型	桁数	コード	繰り返し	データ出力条件	項目定義	項目説明	実装類型
			名称	主キー	外部キー								
024	05940	削除フラグ	不納欠損情報			X	1			必須	当該データが削除されたかどうかを表すフラグ（0：未削除、1：削除済）		◎
024	05308	操作者ID	不納欠損情報			X	10			必須	操作者を一意に識別するコード		◎
024	05309	操作年月日	不納欠損情報			DATE	10			必須	操作を行った年月日		◎
024	05310	操作時刻	不納欠損情報			TIME	8			必須	操作を行った時刻		◎
024	05311	市区町村コード	消込データ情報	○	○	X	6			必須	市区町村を一意に識別するコード（指定都市においては区までを特定）	総務省「全国地方公共団体コード」に従って6桁のコード値を設定すること	◎
024	05312	国保業務詳細コード	消込データ情報	○	○	X	2	160		必須	業務詳細コードを設定		◎
024	05941	徴収方法区分	消込データ情報	○	○	X	1	237		必須	特別徴収又は普通徴収か判断するためのコード		◎
024	05313	賦課年度	消込データ情報	○	○	YEAR	4			必須	賦課を行った年度を設定（調定をたてる年度）		◎
024	05314	対象年度	消込データ情報	○	○	YEAR	4			必須	賦課の対象となる年度を設定（課税すべき年度）		◎
024	05315	通知書番号	消込データ情報	○	○	X	20			必須	徴収上必要なキー情報を設定		◎
024	05316	期別	消込データ情報	○	○	X	2			必須	該当期を設定 現年随期の場合は"13"を始めとする期別連番を設定 過年随時の場合は納期限月に定められた該当期を設定 例：年間8期、随期2期の場合、随期の額は賦課世帯情報の現年度賦課期別額9、現年度賦課期別額10に設定するが、期別は"09","10"ではなく"13","14"を設定 過年度開始月が4月開始の場合、4月納期限は"13"、5月納期限は"14"、6月納期限は"15"・・・翌年2月納期限は"23"、翌年3月納期限は"24"を設定 過年度開始月が5月開始の場合、5月納期限は"13"、6月納期限は"14"、7月納期限は"15"・・・翌年3月納期限は"23"、翌年4月納期限は"24"を設定		◎
024	05942	最新フラグ	消込データ情報			X	1			必須	当該データが最新かどうかを現すフラグ（0：最新ではない、1：最新である）		◎
024	05317	調定額	消込データ情報			S9	13			必須	期ごとの税額（保険料額）を設定 不納欠損が行われていて繰越済の場合は本税収入額を設定		◎
024	05318	督促手数料	消込データ情報			S9	13			必須	期ごとの督促手数料を設定 不納欠損が行われていて繰越済の場合は督促手数料収入額を設定		◎
024	05319	延滞金	消込データ情報			S9	13			必須	期ごとの確定延滞金を設定 本税未納の場合は0を設定 不納欠損が行われていて繰越済の場合は延滞金収入額を設定		◎
024	05320	領収年月日	消込データ情報			DATE	10			必須	領収年月日を設定		◎
024	05321	収入年月日	消込データ情報			DATE	10			必須	収入年月日を設定		◎
024	05322	納付書種別	消込データ情報			X	2	196		必須	納付書種別コードを設定		◎
024	05323	収納機関番号	消込データ情報			X	13			必須	収納機関番号を設定		◎
024	05324	納付番号	消込データ情報			X	5			必須	納付番号を設定		◎